

# ちの

# 茅野市議会だより

## 令和8年3月定例会

第57号  
2026.6.1



## 令和7年度 茅野市議会意見交換会

## 「まん中に愛のある未来会議」



### もくじ

▶ 議会活性化特別委員会経過報告	2
▶ 議会報告・意見交換会	3
▶ 委員会審査	5
▶ 一般質問通告一覧	9
▶ 議決結果	11
▶ 議決賛否	12

1月から2月にかけて、議会報告・意見交換会を4か所で開催しました。議会報告・意見交換会の報告は、3ページ～4ページをご覧ください。

# 議会活性化特別委員会経過報告

## これからの時代を担う 議会を目指して

委員長 竹内 巧

経済の発展と共に生活水準は向上し、求める価値観が多様化している昨今、多種多様な市民ニーズへの対応や、人口減少、少子高齢化が進む中での福祉教育環

### 議会活性化の戦略パッケージ



議員定数

18人⇒16人

必要な議員数の確保

必要な議員定数を見極めることは困難であるが、少数精鋭の議会で、最大の効果を発揮する各議員の覚悟が必要。

議会活性化①例  
・常任委員会の機能発揮  
・会派・議連等による意見及び情報の交換と連携

(議員)機能発揮  
これまで以上に議会

・二代表制の機能発揮  
・議会に対する市民意識の変化

新たな取り組みを確実に推進できる議員数を確保し、なり手不足の解消と、投票率の向上を図るためには、魅力ある報酬額と、定数を見直し少数精鋭で取り組む覚悟が必要。

議会活動に接する機会の醸成

議会活性化②例  
・情報発信の強化  
・モニター制度の新設  
・サポーター制度の新設  
・意見交換会の充実

市民の議会(議員)に対する関心の向上

・なり手不足の解消  
・投票率の向上

議員報酬

引き上げ要請

魅力ある報酬額

やる気のある質の高い議員が選出される可能性

議会に対する抑止力と助言等

議会力の向上

議員力の向上

- ・研修会
- ・行政視察
- ・独学

ここまでの作業を同時に実行することで活性化の実効性が得られる。

境の維持向上、成長過程に整備されたインフラ等をはじめとする公共施設の更新など、行政の舵取りは、大変難しい時代を迎えています。

こうした時代をたくましく、しなやかに乗り越えて行くためには市長をはじめ市職員のクリエイティブな発想と、実現する手腕が重要です。更に重要なことは、行政の提案に対し適切な評価と助言を下せる議員の力量と的確な議決(判断)です。

議員は、行政の高度な提案に対し、それを上回るレベルの評価能力を発揮する必要があり、提案の内容や方向性に課題があるならば、軌道修正等を提言できる情報量と知見が求められます。

豊富な情報量により常に専門性を高めている行政に対し、全ての分野において適切な評価を下し、必要に応じて助言・提言が出来る議員力、議会力が発揮出来る仕組み作りこそ、これからの議会に必要なことだと思います。

議会改革の話は随分前から持ち上がっていますが、なかなか進展をみない状況下、令和6年3月議会に定数削減の陳情が出されました。これを機に議会活性化特別委員会が設置され、改革に向けた動きが本格化したわけですが、

ご案内の通り令和7年5月臨時会で議員定数を2名減の16人に改正しました。この議論が進むにつれ、議員を何人にするか?とい

た単独の話ではなく、議会の機能を強化し、議会力を高次元で維持するためには、議会の在り方自体に目を向けて、全体を底上げしていく必要があります。定数もそのための一つのパーツとして捉える必要がある、とする結論に至りました。

令和7年6月からは議員報酬と議員定数削減に伴う常任委員会の構成等についての議論をスタートさせました。議員報酬についても、単に報酬額が多い少ないといった議論ではなく、議会力の維持向上といった観点での議員報酬の在り方という視点で議論を進めてきました。

その結果、変化の激しい今の時代を担っていく若者や、未来を託す子供たちを育てている子育て世代が、議員活動を議会活動に専念できる環境を整え、現役世代にも議会に参加してもらうことが不可欠だという結論に至りました。

こうした思いから、令和8年3月、議員報酬の引き上げを求め、特別職等報酬審議会の開催を今井市長に要望しました。

議員定数については、「市民の声が届きにくくなる。」として削減に反対する意見もありました。報酬に関しても「引き上げる必要性は認める

が今ではない。」とする主張もありました。

様々な思いが交錯する中で、定数も報酬も最後まで全会一致になることはありませんでしたが、全ての議員の思いは、議会全体の機能を高め、市民に議会や市政に関心を持って貰える議会を目指すことでした(議会活性化の戦略パッケージ(上部図)参照)。

個々の判断には賛否も有ろうかと思いますが、活性化の全体像と茅野市議会が目指していることに、ご理解を賜ればと願うところです。

改選期まで一年を切りました。この1年で中核となる議会改革への取り組みに、一定の道筋を付けるべく、議会一丸となって取り組めます。



議会活性化特別委員会の様子

令和7年度

## 茅野市議会意見交換会

# まんやかに愛のある 未来会議

市民の皆さまと直接対話し、ご意見を議会活動に活かすことを目的に、意見交換会を市内4会場で開催しました。各会場では、議会活動の報告のほか、子育て・教育、地域コミュニティ、まちづくり、議会のあり方など幅広いテーマについて意見交換を行い、多くの貴重なご意見をいただきました。

### 開催日程

令和8年1月25日(日)

湖東地区コミュニティセンター

1月30日(金)

中央公民館

2月6日(金)

ゆいわーく茅野

2月23日(月)

玉川地区コミュニティセンター

## いただいたご意見まとめ

### ■ 議会・行政のあり方

- 議会の議論や判断理由が分かりにくい
- 反対理由や採決の根拠を丁寧に説明してほしい
- 議員一人ひとりが自分の考えを明確に発信してほしい
- 議員活動や委員会審査の見える化を求める声

### ■ 情報発信・広報

- 議会中継はYouTube等で即時配信を
- 録画公開の遅れを改善してほしい
- 議場の仕組みや議論内容を分かりやすく
- 子どもにも理解できる説明を

### ■ 地域・コミュニティ

- 入区・未入区問題と地域のつながり
- 自治会・消防団の担い手不足
- 高齢者が取り残される不安

### ■ まちづくり

- 空き家活用や移住促進の必要性
- 農業の担い手不足と中山間地の課題
- 若者に選ばれるまちづくり

### ■ 開かれた議会・参加のしくみ

- 意見交換会は有意義で回数を増やしてほしい
- 発言しやすい雰囲気づくりが必要
- 若者や移住者も参加しやすい仕組みを
- オンライン参加など新しい形の提案

### ■ 子育て・教育

- 子育て・教育予算の充実を求める声
- 学校再編は地域で丁寧な議論を
- 少人数教育や特色ある学校の維持
- 子どもの遊び場が少ない

### ■ 財政・生活環境

- 施設使用料の値上げに不公平感
- インフラ整備や公園整備の要望

# 意見交換会参加者アンケート結果

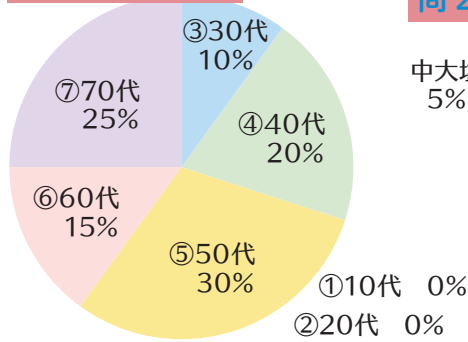
参加者：46人、回答者：40人、回答率：87%

## 〈取り上げてほしいテーマ〉

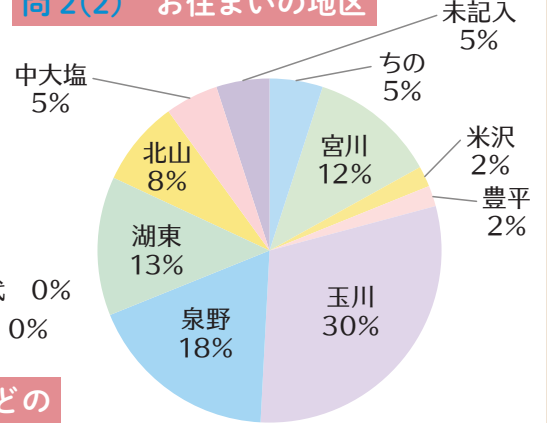
学校の在り方・学校再編  
茅野市の子育てについて  
若者に選ばれるまちについて  
市議会のチェック能力  
地域活動について  
中山間地の農業、活性化  
茅野市の財政（お金の使い方）  
国政とのかかわり方  
議員活動の実績の見える化  
少子高齢化における市政づくり



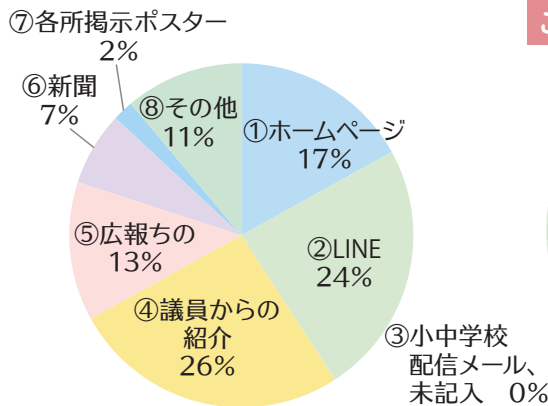
## 問1 年齢



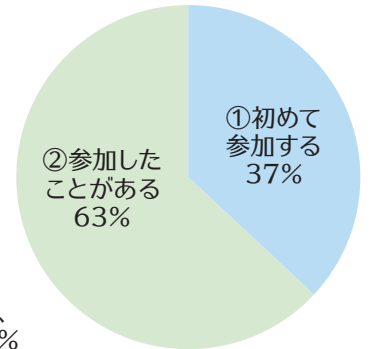
## 問2(2) お住まいの地区



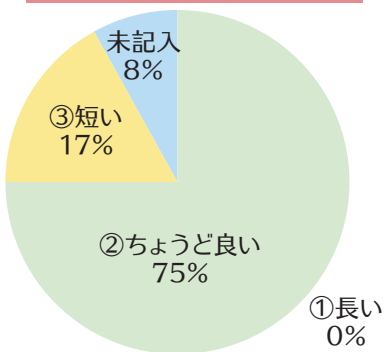
## 問4 意見交換会の開催をどのような方法で知りましたか。（複数回答あり）



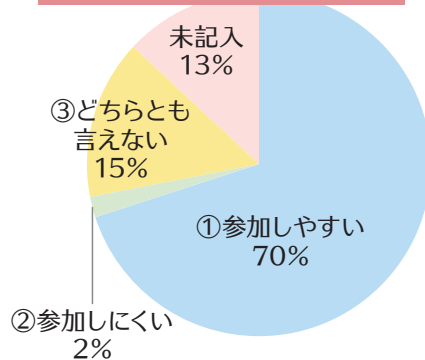
## 問5 これまでに参加したことはありますか。



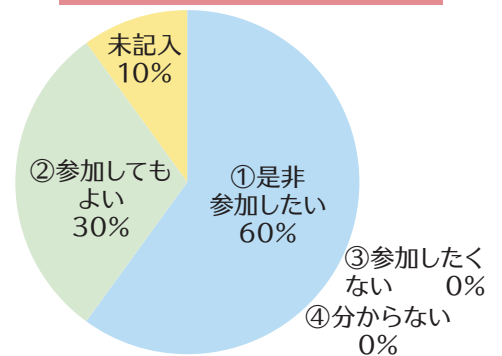
## 問6(1) 長さ（2時間）はどうでしたか。



## 問6(2) 参加しやすさはどうでしたか。



## 問7 また参加してみたいと思いますか。



## 〈感想や議会・議員に伝えたいことより〉

今回の意見交換会では、ワークショップ形式で少人数ごとに話し合いを行ったこともあり、「話しやすかった」「楽しく参加できた」「議員と直接話せる貴重な機会だった」といった感想が多く寄せられました。

また、「もっと多くの議員と話せるようにしてほしい」「このような機会をもっとPRしてほしい」など、開催方法への提案もありました。

議会や議員に対しては、「市民の声をしっかり聞き市政に生かしてほしい」「議会としての考え方や議論の内容をもっと発信してほしい」「地域に出て市民との距離を近くしてほしい」などの意見が寄せられました。また、「市役所の説明をうのみにせず議会として検証してほしい」「決定の過程をわかりやすく公開してほしい」「議会として説明責任を果たしてほしい」といった、議会運営や情報公開に関するご意見もありました。そのほか、「市政について考えるよい機会になった」「今後もこのような場を続けてほしい」といった声も多く、意見交換会の継続を望むご意見が多数寄せられました。



# 令和8年3月定例会

茅野市議会令和8年3月定例会は、2月24日(火)から3月19日(木)までの会期で開催しました。

## 3月定例会のあらまし

3月定例会では、市提出議案32件、議員提出議案1件、陳情1件を審議しました。  
各常任委員会では、委員会付託を省略した議案を除き、各議案、陳情を審査しました。

## 委員会における 主な議案の審査

### 予算決算委員会 (3月9日、11日、12日)

委員長 木村 明美

議案第24号  
令和7年度茅野市一般会計補正  
予算(第9号)について

全会一致 **可決**

歳入歳出それぞれ5億9,056万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ328億1,480万3千円とするもの。

議案第25号  
令和8年度茅野市一般会  
計予算について

賛成多数 **可決**  
により

予算総額を歳入歳出それぞれ305億3千万円、債務負担行為として3事業の期間・限度額、地方債として26事業の限度額等を定めるもの。

### 反対討論

福祉医療制度の件で関係団体と協議したとのことだが、当事者からの聞き取りがされておらず公民協働と言えない。子どもが入院した場合に食事代がかかることも容認できない。公共交通では蓼科地区の実証運行を4月から行うべきだ。また、予算計上されているにも関わらず、詳細不明な点があることも納得できないので反対。

### 賛成討論

人口減少、少子高齢化、社会保障費増加などの中で、市民生活を支える施策が着実に盛り込まれている。特に子育て支援や高齢者福祉など市民の暮らしを支える施策の充実が図られている点は重要だ。一方で、社会保障費の増加などにより、今後の財政運営は一層厳しくなることが見込まれ、持続可能な財政運営に向け、行財政改革を着実に進めていくことを期待する。市民生活を支え、将来につながる施策を着実に進めるために必要な予算なので賛成。

議案第26号  
令和8年度茅野市国民健康保険  
特別会計予算について

賛成多数 **可決**  
により

歳入歳出それぞれ47億3,319万2千円と定めるもの。

### 反対討論

国保事業ではない子ども・子育て支援納付金制度は趣旨に沿わないので反対  
賛成討論  
子ども・子育て支援納付金制度は国

の方針であり、国保制度は国民皆保険制度の根幹をなす制度である。今回の予算は前年比5.5%減で、内容がよく精査されているので賛成。

### その他各事業の予算議案

議案第27号

令和8年度茅野市後期高齢者医療特別会計予算について

議案第28号

令和8年度茅野市水道事業会計予算について

議案第29号

令和8年度茅野市下水道事業会計予算について

議案第30号

令和8年度茅野市米沢鑄物師屋財産区特別会計予算について

議案第31号

令和8年度茅野市湖東白井出財産区特別会計予算について

議案第32号

令和8年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計予算について

議案第33号

令和8年度茅野市泉野大日影財産区特別会計予算について

### 総務環境委員会 (3月13日)

委員長 梯 泰弘

議案第4号

令和7年度永明小中学校メイ  
ングラウンド等整備工事(債務負担)の請負契約について

全会一致 **可決**

永明小中学校メイングラウンドを整備するための請負契約を行うもの。

**問** 工事が完了した際は、何かイベントを行うか。

**答** 具体的な検討はしていないが、今後判断して行く。

**問** 照明設備は設置するか。

**答** 非常に高額なため、今は設置しないが、いずれ設置できるように余地を残して整備する。

**問** 低入札価格調査の適否の基準はあるか。

**答** 入札理由の妥当性、積算内訳書により、財政課の担当が確認して判断する。

**問** 中東の戦争などの影響で原材料費が高騰している。今回の工事はいつ時点の価格か。今後の変更もあり得るか。

**答** 令和7年12月に設計し、その時点の単価で設計している。今後、インフレスライドが適用になれば、増高となることもある。

議案第5号  
令和6年度交付金永明地区2級  
26号線交差点改良工事(債務負担)の変更請負契約について

全会一致 **可決**

令和6年3月定例会で議決した請負契約について、契約内容の一部を変更するもの。

**問** 変更内容が増減の表記だけだが、詳細金額は出せないか。

**答** 主な増減額は、残土処理147万3,290円減、水路延長変更58万1,920円減、基礎の工法変更153万3,744円減、交通誘導員配置変更355万5,720円減、縁石

工変更62万3,682円増、構造物撤去量の増加56万7,298円増、インフレスライド405万9千円増。

**議案第11号**  
茅野市公告式条例の一部を改正する条例について **全会一致** **可決**

社会情勢の変化に合わせ、条例の公布方法を変更するもの。

**問** 公布が電子的なものと市役所掲示板だけに。市役所に来られない人や電子媒体を見られない人に何か対応できないか。

**答** 公布は市役所掲示板だけではなく、ホームページで公開する。開庁時間に限られるが、コミュニケーションセンターでホームページを確認できるようにしたい。

**議案第13号**  
茅野市非常勤の特別職の職員の使用費用弁償に関する条例について **全会一致** **可決**

非常勤特別職職員の費用弁償に関する規定を整備するもの。

**問** 「茅野市職員等の旅費に関する条例の規定に準ずる」とあるが、まだできていないこの条例に準ずるといことが成立するか。

**答** 旅費に関する条例は3つに分かれているが、関連で提出した。

**議案第14号**  
茅野市職員等の旅費に関する条例について **全会一致** **可決**

職員等の旅費に関する規定を整備するもの。

**問** 「届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にあるもの」とある。

これには同性同士の関係も含まれるか。  
**答** 詳細な検討はしていないが、現時点では一般的な事実婚を想定している。

**問** 「最も経済的な通常の経路」とあるが、これは総合的に経済的ということか。

**答** 基本的には最も短距離ということになるが、遠回りでも割安だったり、短時間だったりすることもある。総合的に判断する。

**問** 旅行会社の手配で出張したときは、本人は手続き不要となるのか。

**答** 支払先が旅行会社であっても出張命令に従って業務を行う。これまでも同様に書類一式が必要。

**議案第15号**  
地方自治法等の規定により出頭した関係人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について **全会一致** **可決**

関係人等の費用弁償に関する規定を整備するもの。

**議案第16号**  
茅野市公共施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例について **全会一致** **可決**

基金の用途を拡大し、公共施設の解体等にも利用できるようにするもの。

**問** 解体等どこまで基金を使うか。

**答** 基本的には建物と附属物を想定しているが、アスベストが含まれている場合は有利な起債が使える場合もある。基金の充当や他に使える有利な

財源があればそちらを使うなど比較検討する。

**議案第22号**  
茅野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について **全会一致** **可決**

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、関係規定を整備するもの。

**問** 配偶者が対象外になるが、どのように対応するのか。

**答** 配偶者の削除に関しては、令和8年度から国家公務員の配偶者手当が廃止されることに伴う改正となる。子どもに対する手当は増額となる。今後国に準ずる形で継続する。

**問** 消防団員は仕事をしながら、地域の安全確保のために危険もある中でやっていたらいい。活動環境や処遇の向上はどう考えているか。

**答** 出勤手当、報酬を改正しており、処遇は近隣や県内市町村とも大差ない。

**問** 消防団員の確保が課題になっている中で、もう少し踏み込んで手厚く考えていただけないか。

**答** 今後検討させていただきたい。

**経済建設委員会 (3月16日)**  
委員長 小尾 一郎  
**議案第3号**  
権利の放棄について **全会一致** **可決**

白樺湖温泉株式会社が旧白樺湖総合温泉施設すずらん湯の指定管理者をしていた際の建物賃料の未収金2,103,500円の債権について、その債

権を放棄するもの。  
**問** 多額な金額だが、市民への説明責任はどう考えているか。

**答** 民間譲渡するときに負債のことも説明してきたが、まずは白樺湖周辺の関係者にはしっかりと説明して行きたい。会社は解散しているか。また、債権放棄までには様々な法的手続きがあるが、どのような経過か。

**問** まだ解散していないが、すずらん湯を運営するための会社で、今は休業状態。法的な手続きはいろいろ検討した。今回は私債権になり、税金のように直接に差押えできないので、裁判所を通して差押えすることも検討したが、資産が無い。次は破産手続きになるが、多額の費用がかかり、その費用も出せない。様々な検討の結果、今回の結論となった。

**問** 資産が無いという状況は、一気に作られるわけではなく、何か資産はあったと思うが、資産が無くなるまでの間の市の対応はどうだったのか。

**答** 家賃が月々200万円という契約だった。当時、全部で4千万円の負債があり、まず1,250万円を支払ってもらい、残りの2,750万円を20年間で分割支払することで話合い、最初の3年間は約束どおり支払っていた。その後、法人の現金が尽き、会員から集めて軒数分の支払いがあったが、会員も次第に減り、最終は令和5年の10万円だった。

**問** 株式会社ということだが、資本金はどうなっているか。

**答** 登記簿上は資本金500万となっているが、尽きていることを確認している。

議案第6号  
市道路線の認定について  
(玉川長峰地籍)

議案第7号  
市道路線の廃止について  
(玉川長峰地籍)

議案第8号  
市道路線の廃止について  
(湖東須栗平地籍)

道路法の規定により、市道路線の認定及び廃止を行うもの。

**問** 6号議案は、7号議案の廃止に絡む認定だが、この議案順の考え方は、

**答** 議案番号は総務課で管理しており、基本的に認定、廃止の順である。同一の場所なので、本来なら廃止後の認定になるが、手続き上は同時に行うことになる。

**問** 7号議案の図面で、廃止となる市道路の先と右側に道が記されている。廃止対象外のこの道はどうなるのか。

**答** 公図上は今回の終点で止まっている。図面がだいぶ前のもので、修正していないものが付いているが、この2つの道は既に実態がない。

**問** 隣接する既存の宅地があるが、新たに市道認定されることにより、この宅地も含めた開発とならないか。

**答** 新たに造成する直前に隣接する宅地を開発すると一体とみなされる場合もあるが、諏訪建設事務所に確認したところ、既存の宅地は隣接する造成を予定した土地利用ではないため、開発面積には含まれないとのことだった。

議案第9号  
公の施設の指定管理  
者の指定について

全会一致で可決

いずれも全会一致で可決

茅野市茅野駅前賑わい交流拠点施設の指定管理者の指定を行うもの。

**問** 会社が直前に設立されており、指定管理者として大丈夫なのか不安がある。

**答** 新たに設立されたワクワクするベールビアの取締役は株式会社イマージの会長及び社長が就任している。株式会社イマージは、ワークラボ八ヶ岳の第1期の指定管理者の一員で指定管理者の実績がある。また、運営体制として、地元金融機関の支援や企業間交流支援などを手がける会社にも関わってもらっている。経理部門についても会計事務所に入ってもらおう。そして、何よりも地元を活性化したいという熱意、意欲、賛同する人たちの繋がりがあって、交流拠点として十分に機能していくことが期待できるので、適当だと判断した。

**問** 株式会社イマージとの連携や関係はどうなるのか。

**答** 株式会社イマージは、あくまでも施設的设计・施工を担当している。運営はワクワクするベールビアが担う。

**問** 事業計画書のトライアルキッチンに関して、報道された内容と異なっている。既に計画変更されたのかこの計画は案とされているが、まだ内容が変わるのか。

**答** 事業計画はあくまで案である。運営予定者が検討していく中でトライアルキッチンは無くなった。

**問** 事業計画は、どこが確定で、どこが案なのか。ここは確実にやってもらうというものは何か。

**答** 駅周辺のにぎわいの創出、交流拠点の整備、波及効果の創出、価値

の発信、人口拡大の支援、計画達成の支援、という目的部分は、一番大事なものであるので、ぶれないようにやってもらおう。

**問** 案が確定となるのはいつか。

**答** 具体的な運営方法等は、今後、細かい部分を詰める。内容は全員協議会で説明していきたい。

**問** 今後いろいろな事業を展開して行くと思うが、その都度報告はあるのか。

**答** 交流拠点として整備をしながら、賑わいを生み出していく重要な施設と考えている。その都度説明して行きたい。

議案第17号  
茅野市宿泊税交付基金金の設置、管理及び処分に関する条例について

全会一致で可決

宿泊税交付基金金を設置するもの。

議案第23号  
茅野市下水道条例の一部を改正する条例について

全会一致で可決

長野県下水道公社の名称変更に伴うもの。

福祉教育委員会 (3月16日)

委員長 木村 かほり

議案第18号  
茅野市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例について

賛多数 全会一致で可決

社会環境の変化や医療費の増加を踏まえ、制度の持続性と公平性を確保するとともに、県制度との整合を図り、

将来にわたり安定的に運営できる制度とするもの。

**問** なぜ直接に当事者から聞き取りしなかったのか。声を上げられない人への配慮が欠けていないか。

**答** 福祉21幹事会や地域福祉審議会、子ども家庭応援会議、福祉サービスマスター等の連絡会等で説明と聞き取りを実施した。アウトリーチや重層的支援体制整備の中で、声を上げにくい人へも制限しない支援を行う。

**問** 審議会では、改正の良い点は説明されたが、全員協議会の説明のよ

**答** 属性を問わず断らない支援を行い、アウトリーチで意見を聞く。生活の困難さを拾い上げることが大切に、力を入れる。

**問** 終了となる食事代補助、75歳以上の給付などの影響は。

**答** 改正による市民負担の影響は、令和6年実績の試算で、入院時食事代の終了約2千9百万円、所得制限約1千9百万円、75歳以上約1億2千万円。

**問** 改正による効果額と改正しなかった場合の将来の見通しは。

**答** 改正の効果は、終了するものが制度全体で約1億5千万円、増額約5千9百万円、差引約9千万円。将来的な試算は、現行を維持する場合、令和6年度実績が約4億6千万円で令和32年に7億5千万円となる見込み。改正により令和32年時点で5億3千万円となり、2億2千万円程を抑制できる見込み。

**問** 県制度との整合性とは何か。

**答** 現行の市独自の上乘せ約1億5千万円を見直し、令和12年度には県制度と合わせる。子どもの窓口無償化のみ独自財源となるが、制度の拡大があっても県補助があるため市の負担は増加しない。

**問** 力を入れる予防の具体策は。

**答** 認知症予防、運動事業、健康ポイント等を実施予定。令和8年度予算では、介護福祉、年金等の独自支援に約2千万円、保健予防・健康づくりに約2千万円、障害者福祉サービスも含めると累計約1億円規模の事業となる。

**問** 改正対象の高齢者と自己負担の平均額状況は。

**答** 75歳以上の所得割非課税世帯は約8千7百人で、その年間給付額平均は2万2千円、月約1千8百円。中央値1万1千円、月約9百円。後期高齢者の窓口負担は1割。人数が多いため総額では年間1億円以上となるが、保険料も低額のため、支払いが難しい金額ではないと判断した。

**問** なぜ食事代を自己負担とするのか。

**答** 国の方針で食事代の自己負担分は家庭生活上も必要なものとされた。入院により発生する栄養管理が特別なものは医療給付で賄われる。

**問** 75歳以上以外も段階的に移行できないか。

**答** 75歳以上は制度終了となり対象者も多いため経過措置を行う。食事代は所得に応じた軽減制度がある。所得制限は対象が一部のため現行対応と

した。

**問** ひとり親世帯の所得制限の対象数と、18歳以上の障害者の非対象数は。

**答** ひとり親世帯の人数479人中85人で18%。特別児童扶養手当受給者は27人、他の資格に7人が移行可能。その対象者の令和6年実績は年間平均約5回中央値で2回の受診。給付額は年間約8千円。

**問** もっと明確で丁寧な説明や時間をかけた合意形成が必要では。

**答** 改正内容が難解で、対象により対応が異なるため、個別説明の必要がある。本当に必要な人への支援を検討する中で改正となる。

**問** 受診控えの懸念はないか。

**答** 適切な受診や健康づくりに対応する機会を設ける。

**反対討論**

当事者からの聞き取りが十分でないことは大きな問題で、丁寧に意見を聞く姿勢が必要。報道では子どもの窓口無料化のみが強調され、負担増の面が十分に伝えられていない。市民が声を上げるためには、全体像の周知が不可欠だが、議会や審議会への説明にとどまっている。また、制度の持続可能性を理由としているが、結果として弱い立場の人の負担増につながっている。所得制限も収入だけでなく、生活全体で判断すべき。さらに子どもの窓口無料化と引き換えに支援を縮小する手法は、福祉医療制度の理念から外れているので反対。

**賛成討論**

医療費増加や社会変化を踏まえ、制

度の持続性と公平性を確保するための見直しであり、将来にわたり支援を継続するためにはやむを得ない。75歳以上の見直しは経過措置を設けるなど配慮がある。県制度に合わせることも合理性がある。当事者には適切に対応する姿勢も示されているため賛成。

**議案第19号**

茅野市児童クラブ条例の一部を改正する条例について

全会一致で可決

長野県諏訪養護学校の校名変更に伴うもの。

**議案第20号**

茅野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について

全会一致で可決

特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるもの。

**議案第21号**

茅野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

賛成多数で可決

子ども・子育て支援金制度に関する規定を追加するもの。

**問** 子ども・子育て支援金を追加する理由は。

**答** 国の制度ですべての保険で採用される。全世代で子育てを支援する考え方に基づく制度。

**問** 年間どのくらいの増額になるのか。

**答** 1人当たり179円の増。令和10年度まで段階的に増額予定だが、留保資金等を活用し負担を最小限に抑える。令和12年度の県内統一に向け、最終的な率や負担水準は不透明で、毎

年度税率を見直し、改定の可否は審議会に諮りながら判断する。

**反対討論**

新たな負担を求めるのではなく、国の責任で対応すべき。国保はセーフティネットでもあり、低所得者層が多く、負担を増やすのは問題である。国の制度を理由に是認するのではなく、その妥当性を十分に検討すべきなので反対。

**賛成討論**

国の制度に伴うもので、少子化対策という重要課題への必要な措置である。また、市の裁量は限定的でやむを得ない。税率も抑制的な水準なので賛成。

**陳情4**

消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める意見書を政府関係機関に提出することを求める陳情。

賛成少数で不採択

**委員会での意見**

○追加負担は医療費抑制の目的として合理性があり、今後の国の議論を見守る必要がある。

○追加負担の対象は対症療法的な薬が中心。一定の負担は許容範囲内である。

○OTC類似薬が保険適用外となる懸念で危機感をおおっているように感じる。

○医療費抑制の流れに対する警鐘になる。当事者の声を重視すべきで、国の方針が正しいとは限らない。

○余分な薬の保有など医療利用の甘さがあり、一定の制限は必要。

# 茅野市の課題を問う!



## 令和8年3月定例会一般質問通告一覧 ①

一般質問における実際のやりとり、市側の答弁については、記載のQRコードから動画でご覧いただけます。

質問者	件名	小項目・動画QRコード	
 佐々木 美智子	1 みんなで育てる持続可能な公共交通の次段階	(1) 公共交通の成果と現状認識について (2) ハブ&スポーク型交通体系の実装について (3) 共創による制度設計と今後の進め方について	
	2 サブカルチャーを活用した「若者に選ばれるまち」や「誰もが生きやすいまち」の実現に向けて	(1) サブカルチャーを活用した新たな地域産業の創出について (2) サブカル分野を生かした地域産業人材の育成について (3) サブカル分野における人材と市内企業の連携・マッチング支援について (4) サブカル活動を通じた多様な就労・社会参加機会の創出について (5) サブカルを活用した産業振興に向けた公民連携体制の構築について	
 樋口 敏之	3 公共温泉施設の運営状況について		(1) 料金改正前と改正後における各温泉施設の利用者の動向について (2) 半年パスポート券の制度について (3) 「温泉の素」の販売状況と販売戦略について
 木村 明美	4 気象情報の変化を踏まえた市の危機管理と市民意識醸成について	(1) 組織改正による危機管理体制について (2) 気象情報の変化に対する市の認識と対応について (3) 市民への防災情報伝達と避難行動について (4) 市民の防災意識の醸成について (5) 地域や防災士との連携強化について	
 両角 直樹	5 令和8年度以降の行財政改革の取組について		(1) 令和7年度の優先改革事項 2023 の取組の成果について (2) 現在の優先改革事項の進捗状況と今後の見通しについて (3) 公共施設の統廃合・再編成等の進め方について (4) 行財政審議会の積極的な活用について
 伊藤 勝	6 消防団再編のその後について	(1) 団員数の減少により団員の負担は軽減されたのか (2) 消防団員の質の向上と地域防災力の強化はできているのか (3) 見送りとなった機能別消防団員の導入は考えられないか	
	7 中学校部活動の地域展開について	(1) 保護者の経済的負担、送迎に係る負担に対する考えは (2) 部活動の地域展開と社会体育との関係は (3) 教育的視点はどのように引き継ぐのか	
 竹内 巧	8 観光振興の進め方		(1) 顧客ターゲットを絞り込んだ事業戦略について (2) 観光振興の推進体制について (3) 観光振興ビジョンの基本目標を達成するための4つの柱について (4) 観光振興を通じて満たされる市民の満足度について
 木村 かほり	9 茅野市における組織改正と公民館制度の今後について	(1) 組織改正の目的と公民館の役割や位置づけについて (2) 改正による業務効率化および行政内の連携による効果について (3) 公民館制度の維持と生涯学習都市宣言の理念継続について	
	10 「CHUKO らんどチノチノ」の機能強化による中高生・若者支援の推進について	(1) 「CHUKO らんどチノチノ」の相談や社会参加支援の現状について (2) 「CHUKO らんどチノチノ」の機能強化について (3) 横断的連携の推進について	

# 令和8年3月定例会一般質問通告一覧 ②

質問者	件名	小項目・動画 QR コード	
 梶 泰弘	11 社会構造と災害リスクの変化を踏まえた茅野市都市計画の総括と将来に向けた見直しの方向性について		(1) 茅野市都市計画の成り立ちとこれまでの役割について (2) 都市計画事業の進捗状況と未着手事業の整理について (3) 人口減少・社会構造の変化を踏まえた現行の都市計画の妥当性について (4) 災害リスクを踏まえた都市構造の考え方について (5) 公共施設再編と都市計画を一体で進める必要性について (6) 茅野市立地適正化計画の位置づけと今後の見直しについて
 机 博文	12 県立高校再編の進捗状況と市の関与について		(1) 県立高校再編に期待することは (2) 再編に対し、市としてどのように関わることができるのか (1) 茅野市での実施方法について (2) 現状の課題と今後の方向性について
	13 「こども誰でも通園制度」の運用について		
 洪澤 務	14 地域間幹線バス「岡谷茅野線」について		(1) 岡谷茅野線の位置づけの確認と利用状況 (2) 補助金（茅野市の負担）の考え方と今後の見通し (3) 利用状況を踏まえた必要性和運行ルートの妥当性 (1) 総合計画施行後の茅野市消防団の現状 (2) 現状における茅野市消防団の課題 (3) これからの茅野市消防団のあり方
	15 茅野市消防団総合計画の検証について		
 向山 平和	16 小学校給食費の無償化について		(1) 国の制度及び国の財政負担はどのようになっていますか (2) 国の財政負担と茅野市の2026年度の小学校の給食費との差額、一食当たり及び一人当たり年額はいくらになりますか (3) アレルギー、不登校などの理由で給食を停止している児童への対応は (4) 保護者への説明はどのようになっていますか (5) 保護者負担をゼロとする考えはありますか (1) 特定健診の受診率はどのようになっていますか (2) 近年大腸がんが増加傾向ということですが茅野市の傾向は (3) 前立腺がんの医療費用について (4) 前立腺がんの検査項目を特定健診に加えることは考えられないか
	17 特定健診について		
 両角 実晃	18 長野県宿泊税の活用について		(1) 県では宿泊税をどのような施策に活用しようと考えていますか (2) 茅野市に交付される宿泊税の活用方法について (3) 市町村が連携した広域的な使い道について
 野沢 明夫	19 地区コミュニティセンターの機能と職員体制について		(1) 業務見直しの影響はあるか、またその効果は (2) 地域の活力を活用した運営とは具体的に何か (3) 他の公共施設との複合化の具体化策は (4) 公民館の部局移管変更に伴う業務変更や影響はあるか (1) 専決処分補正予算の内容及び決定経過は (2) 議会への事前説明はできなかったか (3) 今後の議会への事前説明の充実策は
	20 茅野市物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金についての補正予算の専決処分と議会対応について		
 望月 克治	21 「ハケ岳西麓りんご生産アカデミー」について		(1) 開講後順調に進んでいますか (2) 次年度も同様に実施されるのでしょうか (1) 茅野市に在住している外国籍の方は何人おられますか (2) 日本に来た時に日本の制度などの説明はされているのでしょうか (3) 事故やケガなどで市に対応の相談はありますか (1) 「心不全患者の再入院予防のための遠隔看護の普及に向けた調査」と「大型ドローンでの山岳エリアの物資輸送サービス構築に向けた調査」の結果はでしたか (2) 次年度に向けて民間事業者から新たな提案は来ていますか (3) 市が検討している実証調査はありますか
	22 茅野市内の外国籍市民への対応について		
	23 デジタル田園健康特区の現状と今後について		

# 令和8年3月定例会 市提出議案 議決結果

番号	件名	付託先委員会等	議決結果
議案第1号	令和7年度茅野市一般会計補正予算（第7号）の専決処分の承認を求めることについて	付託省略	承認
議案第2号	令和7年度茅野市一般会計補正予算（第8号）の専決処分の承認を求めることについて	付託省略	承認
議案第3号	権利の放棄について	経済建設委員会	可決
議案第4号	令和7年度永明小中学校メイングラウンド等整備工事（債務負担）の請負契約について	総務環境委員会	可決
議案第5号	令和6年度交付金永明地区2級26号線交差点改良工事（債務負担）の変更請負契約について	総務環境委員会	可決
議案第6号	市道路線の認定について（玉川長峰地籍）	経済建設委員会	可決
議案第7号	市道路線の廃止について（玉川長峰地籍）	経済建設委員会	可決
議案第8号	市道路線の廃止について（湖東須栗平地籍）	経済建設委員会	可決
議案第9号	公の施設の指定管理者の指定について	経済建設委員会	可決
議案第10号	茅野市監査委員選任の同意を求めることについて	付託省略	同意
議案第11号	茅野市公告式条例の一部を改正する条例について	総務環境委員会	可決
議案第13号	茅野市非常勤の特別職の職員の費用弁償に関する条例について	総務環境委員会	可決
議案第14号	茅野市職員等の旅費に関する条例について	総務環境委員会	可決
議案第15号	地方自治法等の規定により出頭した関係人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について	総務環境委員会	可決
議案第16号	茅野市公共施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例について	総務環境委員会	可決
議案第17号	茅野市宿泊税交付金基金の設置、管理及び処分に関する条例について	総務環境委員会	可決
議案第18号	茅野市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例について	福祉教育委員会	可決
議案第19号	茅野市学童クラブ条例の一部を改正する条例について	福祉教育委員会	可決
議案第20号	茅野市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について	福祉教育委員会	可決
議案第21号	茅野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	福祉教育委員会	可決
議案第22号	茅野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	総務環境委員会	可決
議案第23号	茅野市下水道条例の一部を改正する条例について	経済建設委員会	可決
議案第24号	令和7年度茅野市一般会計補正予算（第9号）について	予算決算委員会	可決
議案第25号	令和8年度茅野市一般会計予算について	予算決算委員会	可決
議案第26号	令和8年度茅野市国民健康保険特別会計予算について	予算決算委員会	可決
議案第27号	令和8年度茅野市後期高齢者医療特別会計予算について	予算決算委員会	可決
議案第28号	令和8年度茅野市水道事業会計予算について	予算決算委員会	可決
議案第29号	令和8年度茅野市下水道事業会計予算について	予算決算委員会	可決
議案第30号	令和8年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計予算について	予算決算委員会	可決
議案第31号	令和8年度茅野市湖東白井出財産区特別会計予算について	予算決算委員会	可決
議案第32号	令和8年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計予算について	予算決算委員会	可決
議案第33号	令和8年度茅野市泉野大日影財産区特別会計予算について	予算決算委員会	可決



## 議場で行われる本会議は ライブ中継と録画映像でご視聴いただけます。

議場で行われる本会議は、下記の予定に合わせてビーナチャンネル（12Ch 茅野市コミュニティ放送）とインターネットでライブ中継を行います。テレビで、ネットで、ぜひご覧ください。



録画映像  
QRコード

なお、本会議や一般質問等の録画映像は、後日議会ホームページで配信します。  
詳しくは議会ホームページをご確認ください。

また、同ホームページ内の『会議録検索システム』により、会議録の閲覧もできますので、併せてご利用ください。



会議録  
QRコード

茅野市議会

検索

# 令和8年3月定例会 陳情・議員提出議案 採決結果

番号	表題	提出者	付託先 委員会等	議決 結果
陳情1	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	中国における臓器移植を考える会	議場配布	—
陳情2	国に国民の主食である米の価格を統制することを求める意見書の提出に関する陳情	社会の歪を鋭く追及政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」	議場配布	—
陳情3	mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書	宇井淳	議場配布	—
陳情4	消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める陳情書	諏訪地方社会保障推進協議会	福祉教育委員会	不採択
陳情5	茅野市福祉医療費給付制度の改正について、拙速な議決を行わないことを求める陳情書	茅野市の福祉医療をよくする会	議場配布	—
議員提出議案 第1号	世界各地での紛争の即時停止と平和的解決を求める決議	望月克治議員、向山平和議員	付託省略	可決

# 令和8年3月定例会 賛否が分かれた議決結果

賛成…○ 反対…● ※議長は採決には加わりません。

番号	件名	議決結果	両角	梯	向山	佐々木	波澤	木村	竹内	木村	長田	東城	机	小尾	樋口	野沢	伊藤	望月	両角		
			直樹	泰弘	平和	美智子	務	明美	巧	かほり	近夫	源	博文	一郎	敏之	明夫	勝	克治	実晃		
市提出議案	18 茅野市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例について	賛成多数により可決	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	
	21 茅野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	賛成多数により可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	
	25 令和8年度茅野市一般会計予算について	賛成多数により可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
	26 令和8年度茅野市国民健康保険特別会計予算について	賛成多数により可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
陳情	4 消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める陳情書	賛成少数により不採択	●	●	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	
議員提出議案	1 世界各地での紛争の即時停止と平和的解決を求める決議	賛成多数により可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	

上記以外の議案は、全会一致により可決されました。

## みなさんもぜひ傍聴にお越しください！

市議会の本会議及び各常任委員会とはなたでも傍聴できます。予約の必要はありません。  
本会議の傍聴を希望される方は、直接議会棟3階までお越しください。事務局への連絡は不要です。  
なお、委員会の傍聴をご希望の方は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。



### 6月定例会本会議予定

6月3日(水) 開会、提案説明  
6月17日(水)～ 一般質問  
6月26日(金) 委員長報告、採決、閉会

※変更となる場合があります。  
日程は、確定後に議会ホームページに掲載します。

ちの市議会だより第58号は、9月1日発行予定です。

